

野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくりの進捗と関連都市計画道路について

野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会の進捗及び、今後まちづくりを推進していく上で必要となる関連都市計画道路の整備について報告する。

1 野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会の進捗

西武新宿線の野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺については、平成28年に各駅で検討会が立ち上がり、地域住民が主体となってまちの将来像について以下のとおり検討が進められている。

（1）野方駅周辺地区まちづくり検討会

- ・平成28年7月に「野方駅周辺地区まちづくり検討会」が設立
- ・住環境・防災、商業環境、交通環境をテーマとして検討
- ・検討結果を地域に周知するため、検討会主催の中間報告会を開催予定（中間報告会開催日時等）

平成29年6月18日（日）14時から 野方区民活動センター

平成29年6月19日（月）19時から 野方区民活動センター

（2）都立家政駅周辺地区まちづくり検討会

- ・平成28年9月に「都立家政駅周辺地区まちづくり検討会」が設立
- ・商店街やまちの利便性、交通に関する課題、住宅地の環境や安全性に関する課題について話し合い、将来像やまちづくりの目標・方針について検討
- ・避難路や延焼遮断帯に位置づけられている都市計画道路補助第227号線の事業化と沿道のまちづくりが課題
※早稲田通り～妙正寺川間は東京都が事業中
- ・検討結果を地域に周知するため、検討会主催の中間報告会を8月の2日間開催予定

（3）鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会

- ・平成28年3月に「鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会」が設立
- ・道路・交通、まちなぎわい、まちの資源、住環境・防災をテーマとして検討
- ・地域住民を対象としたアンケートでは中杉通りの交通環境改善（渋滞解消、歩行者・自転車の安全性向上）に関心が高い
※補助第133号線（杉並区境～妙正寺川間）は東京都が事業中
- ・平成29年3月17日（金）18日（土）に検討会主催の中間報告会を開催済

2 関連都市計画道路について

地域住民のまちづくり検討会の中では、道路整備、交通環境の改善が検討するべきテーマのひとつに挙げられている。また、西武新宿線の野方駅以西の連続立体交差化を実現するためにも、鉄道と交差する都市計画道路の検討・整備を進めていく必要がある。なお、地域に関連する都市計画道路は以下の3路線となっている。

- ・補助第227号線（妙正寺川～新青梅街道間）【四次優先（区施行）】
- ・補助第133号線（妙正寺川～新青梅街道間）【四次優先（都施行）】
- ・補助第215号線（白鷺三丁目地内～新青梅街道間）

このうち、区施行路線であり、東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）に位置づけのある補助第227号線について、平成29年度は、道路や沿道の土地の形状、建物の位置を把握するため調査を実施する。

- (1) 調査範囲 補助第227号線の妙正寺川～新青梅街道区間（約960m）
道路計画線から、概ね30mの範囲（予定範囲図を参照）
- (2) 実施期間 平成29年7月～平成30年1月下旬
- (3) 調査説明会の開催について
調査の実施にあたり、説明会を開催し事前周知する。
 - ・平成29年7月7日（金）19時から 鷺宮区民活動センター
 - ・平成29年7月8日（土）14時から 野方区民活動センター

【調査予定範囲図】

